京城日報 夕刊 三月十五日（日）
編輯兼發行人 平田小三郎 印刷人 三浦三之助
京城府太平通一丁目 社會資合會社 京城日報社 所有權

餘りの賴りなさに 政府支持熱薄らぐ

貴族院今後の政府關係に 相當惡影響を及ぼすか

【東京電報】昨朝政府が輝別復活に對し衆議院十四日の會議でこれを承認したるに對し、貴族院の政府態度に中立議員間には衆議院の豫算議決を尊重し、極力研究會その他反政府派の復活論に對抗し來れるに拘らず、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活論に對抗し來れるに拘らず、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したことは、濱口首相の病氣のため與黨內部が動搖してゐるとはいへ、偉りに不甲斐なしとし政府首班に與黨の態度に鬼る不滿を抱き、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したことは、貴族院今後の對政府關係に相當影響を來たすものと見られてゐる

現內閣の諸政策を 織り込んだ豫算

濱口首相聲明を發す

【東京電報】濱口首相は昭和六年度總豫算および輝別會計豫算の貴族院通過に鑑み鈴木書記官長を通じて十四日夜左の如く聲明した

昭和六年度豫算は五旬の長きに亘り貴衆兩院において慎重審議せられ、十三日貴族院を通過したのであるが、その輝別會計豫算は一部修正せられたので國目衆議院に御廻せられ、十四日衆議院において之れに同意を與へ

昭和六年度總豫算及び輝別會計豫算は十四日の會議でこれを承認したるに對し、貴族院の政府態度に中立議員間には衆議院の豫算議決を尊重し、極力研究會その他反政府派の復活論に對抗し來れるに拘らず、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したことは、濱口首相の病氣のため與黨內部が動搖してゐるとはいへ、偉りに不甲斐なしとし政府首班に與黨の態度に鬼る不滿を抱き、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したものと見られてゐる

頻被り主義で 議會を切拔ける

野黨最後の猛攻撃開始

【東京電報】濱口首相は昭和六年度總豫算および輝別會計豫算の貴族院通過に鑑み鈴木書記官長を通じて十四日夜左の如く聲明した

昭和六年度豫算は五旬の長きに亘り貴衆兩院において慎重審議せられ、十三日貴族院を通過したのであるが、その輝別會計豫算は一部修正せられたので國目衆議院に御廻せられ、十四日衆議院において之れに同意を與へ

昭和六年度總豫算及び輝別會計豫算は十四日の會議でこれを承認したるに對し、貴族院の政府態度に中立議員間には衆議院の豫算議決を尊重し、極力研究會その他反政府派の復活論に對抗し來れるに拘らず、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したことは、濱口首相の病氣のため與黨內部が動搖してゐるとはいへ、偉りに不甲斐なしとし政府首班に與黨の態度に鬼る不滿を抱き、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したものと見られてゐる

【東京電報】濱口首相は昭和六年度總豫算および輝別會計豫算の貴族院通過に鑑み鈴木書記官長を通じて十四日夜左の如く聲明した

昭和六年度豫算は五旬の長きに亘り貴衆兩院において慎重審議せられ、十三日貴族院を通過したのであるが、その輝別會計豫算は一部修正せられたので國目衆議院に御廻せられ、十四日衆議院において之れに同意を與へ

昭和六年度總豫算及び輝別會計豫算は十四日の會議でこれを承認したるに對し、貴族院の政府態度に中立議員間には衆議院の豫算議決を尊重し、極力研究會その他反政府派の復活論に對抗し來れるに拘らず、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したことは、濱口首相の病氣のため與黨內部が動搖してゐるとはいへ、偉りに不甲斐なしとし政府首班に與黨の態度に鬼る不滿を抱き、政府支持熱薄らぎ、研究會の復活を承認したものと見られてゐる

となるべき契約を要する件は茲に兩院の協賛を經たのである、この豫算は組閣後始めて成立した普通豫算であつて、海軍を筆頭に補充計畫繼續等其他現內閣の政策を織り込んだる極めて有意義なる豫算であることは申す迄もない、從つてその成立は政家のため洵に慶賀に堪へざるところである、尙は追加豫算は目下衆議院において質問應答中であるが、遅からず審議終了、兩院を通過するものと期待してゐる

つゝひたすら政局の推移を觀望する外手の出しやうのない有樣である、然しかゝる隱忍自重の態度は何時まで持續することを許さない、從つて野黨は何時から攻撃を開始するかは目下注目の的となつてゐる

邦家のため慶賀に堪へぬ

豫算成立に就て 濱口首相語る

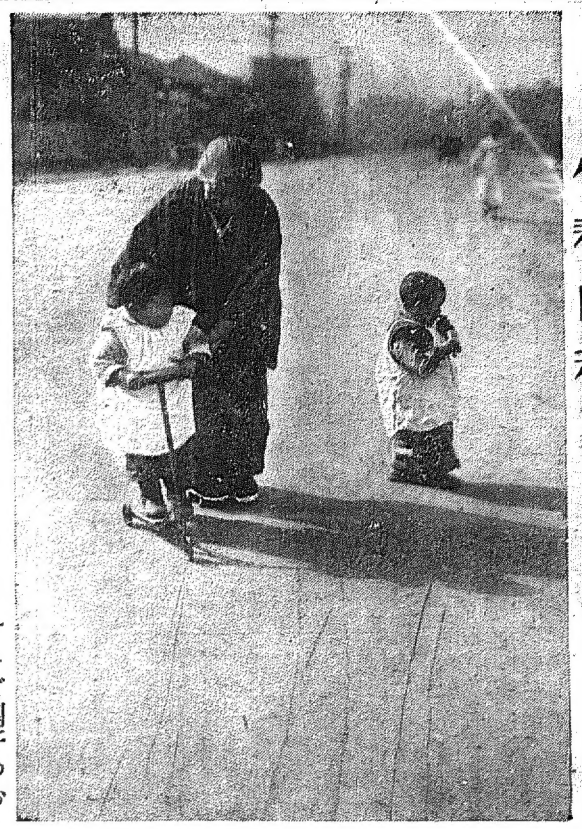
【東京電報】來年度總豫算案および輝別會計豫算は十四日を以て全部成立したるにつき濱口首相は左の如く語つた

昭和六年度豫算は五旬の長きに亘り貴衆兩院において慎重審議せられ、十三日貴族院を通過したのであるが、その輝別會計豫算は一部修正されたので國目衆議院に御廻せられ、十四日衆議院において之れに同意を與へ、茲に昭和六年度總豫算及輝別會計豫算は成立するに至つたのである、この間の經過は誠に感慨無量なるものがあり、特に輝別會計豫算及豫算外國庫の負擔は十四日を以て全部成立したるにつき濱口首相は左の如く語つた

昭和六年度豫算は五旬の長きに亘り貴衆兩院において慎重審議せられ、十三日貴族院を通過したのであるが、その輝別會計豫算は一部修正されたので國目衆議院に御廻せられ、十四日衆議院において之れに同意を與へ、茲に昭和六年度總豫算及

小春日和

府廳前にて



深紅の生血したゝる 奇怪な風呂敷の遺失物

人騒がせな！後産の胞衣

京城驛で發見さる

深紅の生血したゝる風呂敷包みが發見され驛員が驚き〳〵あけて見れば、後産の。衣であつたといふ常に面しのやうな怪遺失物が京城驛にあつた――十四日午後十時ごろ京城驛の三等切符賣場の窓上に風呂敷に包んだものが置き忘れてあるのを驛員が發見し、何氣なく持ち上げてみると鮮血がポタ〳〵と下に落ちるので、すつかり青くなり仲間を呼び集め「大變だ〳〵」と騒が出て「大變だ〳〵」と騒がれ「大變だ〳〵」と騒がれ風呂敷包みを前にして氣味惡さうに眺めてゐたが、「開ひて中味を調べてみようと頑氣あるものが開けてみると

澁紙が 現はれて、さて〳〵血はしたゝるので仰天したが、澁紙をあけると眞紅の繻子の中に『分娩後の胞衣が包んであるので』ほつと一同あいた口もふさがらなかつたが、朝鮮では後産の胞衣は煮て喰へば滋養分になるとの迷信があり、多分何もない胞衣を拾へ〳〵と捨てゝ

切符を 買ふやうに忘れたものと推されるが、洗年二十餘もある京城驛の落し忘れ物の中に胞衣を忘れたのははじめて〳〵多く奇々怪々の遺失物だといつてゐる

日米對抗の水上競技

八月中旬の三日間 その他の競技も決定

【東京電話】日本水上競技聯盟は十三日理事會を開き日米對抗水上競技の日取りに就き協議した結果、八月十四、五、六の三日間と決定、番年八月初四日頃に行ふことになつてゐる第五回太平洋大會は神宮競技場を當ねて十月二、三、四の三日間に決定した（何れも神宮プール）なほ右決定に伴ひ中等校大會の期日を繰延する必要を生じたので、聯盟聯盟でも十四日實行委員會を開き協議したが、その結果今年度の水上競技會のスケジュールは別紙の外左の如く決定した

▲日米對抗競技　八月一、二日
▲中等學校大會（東部）八月廿二、三日（明上神宮プール）
▲東西中等校大會　八月廿九、卅日（神宮プール）（大阪）
▲關東選手權大會　八月十九、卅日（神宮プール）
▲中等校東西對抗　八月卅日（大阪）
▲インターカレッジ　九月十九、廿日（神宮プール）

赤化犯人判決

【平壤電】ハルビン在住朝鮮人學生を中心に社會花學研究會を組織し、マルクス主義の研究、同主義の發展に努め、將來は在滿朝鮮人の赤化を發さんとしてゐた廉を殺取押さへられた全南出身ハルビン居住李容龍（二）外一名に六ヶ月乃至懲役法廷法第反事件控訴審判決は十四日平壤覆審法院において破棄判所から各懲役一年に處する旨言渡された

毆られて死亡

平壤署取調べ

【平壤特電】平壤府鹽上郡雲住平安ユム工場、職工李光發（三）は十四日午後四時半ごろ同工場でユム製品檢査員と喧嘩をなし毆られたが直ちに檢査員と同人の來るのを待ち受けてゐた島根縣美濃郡吉田村生れ洛陽平壤府楊町居住キビ團子行商人池田茂一（三）氏に十四日午前十一時平壤府若松町傳染病隔離所に赴き同日午後五時頃同所の二階で毆殺をとげてゐるのを發見された、同人は一日に四升の酒を呑み傳える酒癖で死因は毆殺からしいと

キビ團子のおぢさん自殺

【平壤特電】平壤名物の一つキビ團子のおぢさんとして毎日子供等から同人の來るのを待ち受けてゐた島根縣美濃郡吉田村生れ洛陽平壤府楊町居住キビ團子行商人池田茂一（三）氏は十四日午前十一時平壤府若松町傳染病隔離所に赴き同日午後五時頃同所の二階で毆殺をとげてゐるのを發見された、同人は一日に四升の酒を呑み傳える酒癖で死因は毆殺からしいと

共匪に壓迫され 續々と移住する 滿洲在住の農民ら

【奉天特電】間島における例の共產黨事件に端を發し、今や北滿の奥地は勿論間島地方の興奮、惡化相伯、樹河の四縣を中心に妄動して無數善良なる朝鮮人農民を苦しめ種々の壓迫を加へてゐた不逞鮮人團は悉く共產黨に化し、善良鮮人に對する金品掠奪その他の迫害を加ふる事は從來より一層激しく、中には支那官憲と結託して鮮人團にあらゆる迫害を加へたる事も尠くないために鮮農等は到底安住する事が出來ないので遂に有力者を求めず逃ひ出し、多數宗族を率ひて朝鮮（驛）名者があり、或は日本憲兵の保護の充分なる奉天、樹河縣の都會地に向け續々と移住しつゝある。最近奉天にもこれ等移住民が續々入込み日下西塔方面の街路上に彷徨してゐるものその數三百八十余名、政れも住むに家なく喰ふに食なき窮狀は筆舌に盡しがたいものである。在滿鮮人團と特殊關係ある奉天東亞觀業公司ではこれ等移住民に對して日下鮮官中で最も奉天總領事館と協力して何等かの方法を講ずべくとしてゐる

元山府の火事

全燒四戶半燒五戶 今朝目拔きの場所で

【元山電話】十五日午前六時十分頃元山府「抜きの場所」中町二丁目三十六番地魚神貴商高山遊四郎氏の住宅から發火、同家を全燒して隣の和菓子屋から發火、同家を全燒して隣の和菓子屋から發火、同家を全燒して隣の和菓子屋

大邱府協議會

一瀉千里で進行

大邱府協議會第四日は十四日午後一時開会朝鮮出席十五名欠席九名計二十三名の全員委員會に引續き本會議に入る

▲議長　開會を宣し諮問第六號の第二讀會に入るに先ち委員長大野佐三郎君の報告がありました

▲大野君　本案は委員長として委員會の經過結果を報告致しますと前提し原案の一部を修正するとに意見一致を見た科目節ち徴入經費節第一款第費費費四項の旅費三千三百五十四圓を三千四圓に修正し同節第八項雇用費九千六百四十三圓を九千百四十三圓に修正し結果として附帯に属動を生じたものは之が修正を理事者に一任するとし、次は第廿一款雑費節第一項雇給の二万八百五十五圓を二万百五十五圓に修正

▲山口君　府が バスを經營するのは交通便利のためか營業のためかとの問ひに対し庄司課長より勿論交通便利のためである

▲山口君　然らば島町方面行きを復活されたし交通便利のためならば少し缺損をしても強行かねばならぬ問題なり、刑務所方面まで運行せねばならぬ問題事者の意思如何右に対し資外より十分考慮する旨答辯があり

▲李在用君　理髪手の最高最低給は幾何になつてゐるか最高一圓七十錢、最低一圓二十錢である

▲白水主任　民間に補助をして委任經營させる意思はないか

▲議長　經費に責任を負んする國體があつて相當犠牲を弗ふならば考慮する撥算はこの程度で諒會を省略可決してはどうか異議なしとの聲高撥を敲ふ

▲議長　諮問第八號大邱府公會堂使用條例改定の件を上程し内務部長の說明

▲庄司課長　敬文質ペば延長して

▲黄炳米　所屬人所屬即黄蛋黑林鳳洙(ユ)で頭部を頭部の方より輝かれたらしく附近一帶は見るも無惨な血の流れてあつた。取調べにより同時刻通行した自動車は貳台頭部上重矢吹五郎の自動車用トラックで且下矢吹五郎に就き取調べ中であるが、被害者は當日そのトラックの荷積みに屋はれたもので、雜袋當時は同車してゐたもの、飛び降りて轢かれたのか、飛び降りてから外の自動車に轢かれたか、まだ判明しない（公州）

◇裡里で来る廿一日から裡里會の主催で第馬大會を公設グラウンドで開催すべく目下準備中である

◇裡里學校組合の六年度卒業式は来る十九日新議員を見て開催する

◇裡里商六年度卒業式は来る廿三日から十七日迄實施

◇高山裡里面長は十三日から十七日迄實施

◇裡里に於ける内鮮主婦誕生祭は十三日午前十一時から裡里神社で殷かに執行されたが小學生徒通生徒に官民有志多數の参列があつた

混戰狀態の釜山府議戰

各候補共自派の陣營を固め有權者の爭奪に狂奔

府方面医の改正實施による釜山の府會議員選挙は時日の迫迫するに伴つて各候補者の活動は漸次白熱的となり内地人候補三名朝鮮人候補十餘名が有權者獲りに必死の奮闘を見せて来た、十四日までに官候補を名乗つて猛運動に乗んだ人々は

▲井倉藤二郎（現）▲山田信吉（現）▲上杉吉太郎（現）▲酒田惟恕（現）▲大矢音松（現）▲西鶴鶴八（現）▲小林彦一（現）▲山本俊吉（現）▲山田敬七郎（現）▲小駒長（現）▲井川完一郎（現）▲竹下藤平（現）▲山川定（現）▲中島鶴太郎（現）▲西村洗次郎（現）▲福田政吉（現）▲板田政吉（現）▲河野清藏（現）▲川島常雄（新）▲松岡源太郎（新）▲竹内誠（新）▲高村長太郎（新）▲中山長一郎（新）▲澤山實吉（新）▲水野慶一（新）▲西尾虎之助（新）▲楊國植（新）

の各氏が柳立したほか曹年實業師を當選にして新人五島信郎氏と盛和曹の大邱部平野忠三郎氏が十二日朝奥都出馬を見合せたので會長移村速助氏が府會議員に繰上げ補欠候補者の神經を鋭々先鋭化させるに至つた、その他八百の選挙票を有する牧の島は自治會と昭和會の感情的衝突によつて荒木白石内三氏のほかに中村力次郎氏の出馬も期待されて金福は流賊に流賊を重ね有力な地盤を有する原田氏を除く次数の候補者は全く油断の出来ない現場調査と同時に狙人飲附の緊張にあつて殊に中井氏は自動車を駆使して微塵を唯一の戦みとする裏面運動大邱氏は新鮮候補として出馬ただけ一部には熱烈な感激とある方面業團体その他の後援を通つて相當地盤を博するつけてゐる、若し平野忠三郎氏の勝を繼いで移村氏および若狭田自治氏の出馬となれば波は更に拡大されて大混戰となるべく各候補氏自流の運動を開始する一面有權者の爭奪に必死の努力をつくしてゐるから来月二十日以後に立候補を名乗つて出馬する有志がありて早立証れてあらうと観測されてゐる、新鮮候補としては前回の府議選に二度出馬した人物で現在の府議員の一部は今年の選挙に出馬するとの噂もあり

古墳の盜掘

一味全部捕はる

純金の寶冠を奪はんとして際どい處で發覺

農北郡州邑の入口に連る古墳群の内十紀里所在の今はすでに風土化した大船古墳を附近の青年が集り數日前から掘掘してゐたのを去る一日朝通り驚りの農州面巡査駐在所の巡査が發見同地方は直ちに修繕を加へ盜掘者の捜索を始めたが、その後の調査によると盜掘者は前日の夜中に乗じ鍬を以て墓の上部を破壊し通路を穿鑿せんとするところを折よく通りかゝつた郡廳甲の元山巡査に發見され押さへられた（元山）

京城咸興間

貨物空輸

朝鮮航空研究所で實施

昨年十二月上旬北鮮航空路開拓の試驗飛行を決行し成功した西尾二郎氏主宰の朝鮮航空研究所では北鮮航空路綿羊張の第一着手として明年度早々から京城咸興間の貨物空輸を實施することになつたといふが右空輸は往復共途中を元山に着陸するので元山から鮮魚を京城八人を増加してゐる（公州）

忠清南道總人口

百卅八萬二千人

國勢調査結果發表

國勢調査による忠清南道總人口は百三十八萬二千八百七十二人（男七一〇、〇五〇女六七二、八三二）で大正十四年實行の國勢調査に比し一〇〇、八三四人増に昭和四年末現在に對比し九九、二九八人を増加してゐる（公州）

大邱師範入學者

大邱師範學校入學許可定者は左の百名である（大邱）

棚瀬紹、崔萬紹、李良世、安東澄、金圭祖、成宗鳳、洪祥鳳、李仁成、裏鍾鎬、梁大寶、申相鈺、李鍾成、李正國、岡部俊郎、李泰鎬、孫宗鳳、金敬一、李必用、朴鎬鎬、李鍾浩、徐成大、金正國、吳時鎬、金敬一、朴三岩、八尋七郎、鄭九鳳、大浪岡志夫、林三用、崔在鎬、殷成、崔成泰、李萬鎬、梁桂昌、辛承鎬、張世永、楊九容、淑、鍾鎬岡、朴碧鎬、徐鍾鎬、林泰鎬、李在宣、李宗鳳、金鎬虎、成龍九、金正鎬、李泰鎬、金鎬虎、成龍雄、崔勝男、白潤淳、申泰鎬、李相鎬、李鍾、李鍾鎬、李鍾鎬、朴碧鎬、徐鍾

川合又五郎

(149)

命綱(ロープ)

鳥江鐵也作
佐藤松華畫

その日は幾人か立ッて、水兵の『ひげの隊』は並ッ立にして、本兵の『軍服』を脱かして先へ進を急がせ、機關は一番後れて蒸箱の組をしめ直して箱を立つた。

そしてまだはの暗い未明の艀船を、三ヶ坂の働にさしかゝつた。御を立つ時分、空はどんよりとくもつてゐたが、三ヶ坂にさしかゝつた頃から、氷雨が横殴に降しくザッと降つて來た。

手に持つた小田原提灯がやゝともれば消えさうになるので、合羽はあつてゐたが、近づくのにつれて上く耳をすまさと、しやがれて低妙に消え消えの呼び聲である。

『ハテなア』

何者だらうと彼は歩止まつて、その方を見た。

バン〳〵あけまし上
こんまでおいで
切やニコ〳〵ロチ〳〵と
明治町 木村屋

また賣いのでん餅の見ねぬ。だが、先方はこつちの提灯のあかりをたよつて來るらしかつた。

『お客人、まー、待つて下せ伝』

やがて彼に近づいて來たのは、向ふの方で降つてゐるらしく、枯木林に降る雪が聞えてゐた。

『何ちや、饅頭どん、こんな所へ何を買つて來て……』

『お客人、私はお即さんに物を渡に來た。どうもこんな大袋の石塔料を持つてゐる氣がすまぬ、それにまた雑にたのんで分けてもらふたこの藁、これも仔細あつて返しませう……。その代りこれは一生の頼みぢや、そのお即さんが待つてゐる印籠の持主の在所を知らして下され』

平助は懐中から金鶴みと藁を包んだ紙とを取り出した。

『それは何をいふのぢや、わざわざ遠かけて來て何の用かと思ふたら、だがいもないこと、この印籠の持主の在所を訊いて其方たちはどうしようといふのぢや、この印籠の預け主は『坊ッ』の御主筋、譚あつて現在の在所は人に話せぬから聞く事はすぢにおいてくれ』

饅頭は黙よく断つた。

向ふの方で降つてゐるらしく、枯木林に降る雪が聞えてゐた。

『何ちや、饅頭どん、こんな所へ何を買つて來て……』

饅頭は斜しげに訊ねた。

『お客人、私はお即さんに物を渡に來た。どうもこんな大袋の石塔料を持つてゐる氣がすまぬ、それにまた雑にたのんで分けてもらふたこの藁、これも仔細あつて返しませう……。その代りこれは一生の頼みぢや、そのお即さんが待つてゐる印籠の持主の在所を知らして下され』

平助は懐中から金鶴みと藁を包んだ紙とを取り出した。

『それは何をいふのぢや、わざわざ遠かけて來て何の用かと思ふたら、だがいもないこと、この印籠の持主の在所を訊いて其方たちはどうしようといふのぢや、この印籠の預け主は『坊ッ』の御主筋、譚あつて現在の在所は人に話せぬから聞く事はすぢにおいてくれ』

饅頭は黙よく断つた。

京城 ヤまと家旅館 電話26 染

神經痛 リウマチ 關節炎 手足腰 ムンバ・ハレン・ヒ・ヒ・ヒ